

腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術を受けられる方へ

患者氏名:

| 経過 (日付) | 入院前 (外来) | 入院日 月 日 | 手術当日 | | 術後1日目 月 日 | 術後2日目(午前中)退院 月 日 | 退院後 |
|------------|--|--|--|--|--|--|---|
| | | | 手術前 | 手術後 | | | |
| 到達目標 | 入院の目的が理解できる。 | 手術の準備(必要書類・必要物品の準備)ができる。分からないことを医療者に尋ねることができる。 | 絶飲食の時間を守ることができる。 | 痛いときは我慢せず過ごすことができる。 | 痛み止めを使いながら歩行することができる。 | 【退院の目処】水分や食事摂取後に発熱・腹痛がない。創部に問題がない。 |  |
| 治療・処置 | ・お薬を飲まれている方は、お薬手帳を確認させていただきます。 ・医師から中止と言われた薬は内服しないでください。※必要な方のみ | ・身長・体重測定をします。 ・内服薬の確認をさせていただきます。 ・臍処置をします。 | ・午後の手術の方10時から点滴があります。 ・血栓予防のストッキングをはきます。 ・手術用の病衣に着替えます。 ・義歯・メガネ・時計などの貴重品は外してください。 | ・痛みに対しては痛み止め等、吐き気があれば吐き気止め等の援助をさせていただきます。 ・点滴は持続で行いますが、食事が半分以上食べられたら点滴はなくなります。  | | | |
| 検査 | 術前検査(採血・レントゲン・心電図・肺機能検査等)があります。 | | | | | | |
| 安静 | | 制限ありません。  安静度フリー | | 病室後ベッド上安静です。手術4時間後から歩行可能です。  ベッド上安静 | 床ずれや腸閉塞の予防につながるため、歩行練習を積極的にしましょう。  | 退院です。 | |
| 食事 | | 制限ありません。必要時特別食です。21時より絶食 | 絶飲食  | 医師の許可があれば手術4時間後から飲水可能。夕より普通食が始まります。 | | | |
| 排泄 | | 下剤を飲みます。 ※必要な方のみ | | 手術4時間はベッド上での排泄。その後はトイレ歩行可能。排ガス、排尿があればお知らせください。術後8時間たっても尿が出ないときは、管を入れて尿を出します。 | | | |
| 清潔 | | 入浴またはシャワー  | 歯磨きをしてください。 | うがいをしましょう。 | ・歯を磨きましょう。 ・創を防水してシャワーに入れます。  | | |
| リハビリ | | | | 術後4時間より歩けます。初めて歩くときは、看護師と一緒に歩きましょう。 | 退院に向けてどんどん体を慣らしましょう。 | | |
| 説明 | ・主治医の診察および手術説明があります。 ・看護師から手術前説明があります。 ・入院担当事務から入院手続きに関する説明があります。 ・術前外来受診があります。(看護師より入院前生活情報について聞き取りがあります。 ・術前歯科受診があります。 | ・入院時オリエンテーション ・手術オリエンテーション | 家族の方は、手術開始の2時間前に、朝一番の手術の場合は8時までに病室にお越しください。  | 手術後の説明が病棟であります。  | | ・腹圧上昇について排便時のいきみは傷口に負担をかけるので、必要時、下剤を飲むことを勧めます。工作上、重いものを持つのはやめましょう。(約1か月) ・退院時指導 | |

☆退院後に退院後初回来受診日までには異常を感じましたら受診日をお伝えいたします。受診日を待たずに受診してください。

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。
※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。